

10月の台風等で大雨、土砂崩れ等被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。さて11月は秋も深まり紅葉の美しい頃となります。お弁当を持ってハイキングや紅葉狩りなど楽しみます。動物園も行ってみたいです。皆さんどこへ行かれますか。

## ■名張市が『スマホなどの動画を活用した手話通訳対応サービス』を始めました！



（名張市ホームページ「スマホなどの動画を活用した手話通訳対応サービス」より）

名張市では、スマホなどを活用した手話通訳対応サービスの試験的運用が11月1日より始まりました。これは、今年6月に施行された『名張市手話その他コミュニケーション条例』の施策の一環です。なお、詳細は以下のとおりです。

対象者	聴覚障害や言語障害があることで、音声による電話でのお問合せができない方。
対象内容	行政の業務に関する問い合わせ等。 例：〇〇の手続きについて持ち物は？ 〇〇のイベント、申込みをしたい など。 ※相談等、対人通訳が適しているとみなされた場合は来庁してください。
運用期間	試験的運用：平成29年11月1日～ 平成30年3月31日 本格運用開始：平成30年4月1日～
運用時間	8時30分～12時 13時～17時 ※不在の場合は受信の際、文字ボードで不在を伝えるとともに、後ほどまたは後日、市より案内します。

**スマホ・タブレットなどを活用した手話通訳対応サービス**  
例えば、こんな使い方をします。

自宅や訪問先の公共施設で、「〇〇の手続きについての方法」や「〇〇〇〇の申込」について知りたいとき

ろう者は、スマホ・タブレットを起動させ、動画により市役所に配置している通訳者に、「〇〇について」と手話で問い合わせをします。

自身のスマホ・タブレット

通訳者

【ろう者】

↑

スマホ・タブレットなどを活用して「手話」で会話

市役所

通訳者

タブレット

【担当職員】

市役所に配置する通訳者は、問い合わせ内容について担当職員から説明を受け、その内容をタブレットの動画により手話で説明します。

使用するアプリや通信を始めるのに必要なIDやメールアドレスなどについては、名張市のホームページをごらんください。

【名張市ホームページ：

スマホなどの動画を活用した手話通訳対応サービス】

<http://www.city.nabari.lg.jp/s080/20171025150523.html>

## ■県内各地に水害をもたらした台風21号！

10月22日夜にかけて三重に最接近した台風21号は、伊勢市や名張市、玉城町などで河川等の氾濫による浸水など、県内各地に水害をもたらしました。

家屋に浸水した場合は消毒が必要になります。また、水に浸かってしまい使えなくなったものはゴミに出したりと復旧作業に追われます。自治体では罹災証明の手続き、消毒薬の配布や災害ゴミの受け入れなどについて情報を発信しています。

ぜひ、いざというときはお住いの自治体のホームページをチェックしてみてくださいね。



（台風が過ぎ去って夜が明けた後も国道23号線では一部が冠水していました！）

# 字幕映像ライブラリー NEWS

誰でも突然発症する可能性のある「突発性難聴」。最近、芸能人やミュージシャンが突発性難聴になったために活動を休止したと報じられることが増えてきました。今月は突発性難聴に苦しんだ方の体験を聞くことができる番組を紹介します！

なお、「借りたいけど、なかなかセンターに行くヒマがない～」とお嘆きのアナタ、大丈夫です。郵送で貸出や返却ができます。詳しくは当センターホームページで！



## ■字幕映像ライブラリー 今回のイチオシ作品 はこれです！ 『この人と福祉を語ろう わたしと難聴と京都の関係 麻生圭子さん』



(番組の一場面から)

1980年代に今井美樹、岡田有希子、吉川晃司、田原俊彦、小泉今日子等の数々のヒット曲を生み出した作詞家の麻生圭子さん。しかし難聴になってしまい、作詞家を引退。その後はエッセイストとして活躍し、今は京都に夫と暮らしている。

今も難聴は進行しているが、その分見るものが以前より美しく感じられるという。難聴と向き合いながら日々を暮らす麻生さんから、その生き方と京都の魅力が語られます。

## ■センター登録団体等の行事のお知らせです！（手話通訳・要約筆記付き）

### ■2017 年度福祉フォーラム

『電話リレーサービス・遠隔手話通訳サービスについて ～制度化の現状と課題を学ぶ・見る・体験する～』

熊本大地震における避難所支援で大いに役に立ち、今や公共機関や公共交通機関の窓口などへの導入が進んでいる「電話リレーサービス・遠隔手話通訳サービス」は、国の制度化が検討されています。

この福祉フォーラムでは、電話リレーサービス制度化検討委員会委員を務められている小竹安治氏の講演から、今後どう取り組んでいくかを考えます。



日 時：2018年1月14日（日）13：30～15：30（13：00～受付）

場 所：三重県聴覚障害者支援センター 研修室 ※定員数 35 名程度

講 師：小竹 安治氏（電話リレーサービス制度化検討委員会委員）

資 料 費：一般 500 円 / 会員（三聴障協会員・賛助会員）300 円

問合せ先：一般社団法人三重県聴覚障害者協会

Email：deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

Fax:059(223)4330/TEL:059 (229) 8540